

光市医師会報

平成 13 年 7 月号

No. 345



光市 虹ヶ浜

光市医師会

追 悼



故 廣田 通男先生 略歴

大正14年12月7日	岡山市で出生
昭和23年 3月	岡山医科大学専門部 卒業
28年	広島鉄道病院光分院勤務
35年	学位受領 (山口大学)
35年 8月	広田医院継承
	同年より光高等学校校医
平成13年7月16日	逝去

弔 辞

本日ここに、故医学博士廣田通男先生の告別式がとり行われるにあたり、光市医師会会員を代表して、謹んで永遠のお別れの言葉を申し上げます。

命あるものは必ず死を迎えて、相会うものは、いつか別れる定めとは申しましたが、先生は何故かくもはかなく逝ってしまったのか、誠に痛恨哀惜の情を禁じ難く、心より哀悼の意を表する次第であります。それにもまして、奥様はじめ、ご家族の皆様方のお哀しみを拝察する時、お慰めの言葉も見つかりません。

先生は、大正14年12月7日に岡山市でお生まれになり、戦後間もない昭和23年に、岡山医科大学専門部をご卒業になられました。その後、光市に移られ、昭和23年広島鉄道病院光分院に勤務され、昭和35年山口医大にて学位を受領され、同年8月に現在地の光市中央で、内科・小児科・皮膚科医院を開業されました。

以来40数年にわたり、誠心誠意患者さんと向かい合い、地域医療に専心されました。

その清廉潔白なお姿は、私共後輩にと

って、また地域の人々にとってもかけがえのない忘れられない存在でありました。また、先生はご開業当初より病にたおられるまで、実に40年余にわたり、光高等学校の校医として務められました。

高校生の心と体の健康を見つめ、心配され、励まされたお姿は教育者でもありました。光市医師会の中にあっては、理事、副議長、議長として、会のお世話をなさる中で、その気骨ある厳正な姿勢をもって、私共をご指導いただきました。本当にすばらしい先生でした。

先生がご開業され、長きにわたり、地域の中で培われて来られた医の心はご子息の修先生が今、しっかりと跡を継がれ、私共と一緒に歩いていけるものと確信しております。どうかご安心ください。

ここに改めて、光市医師会代表として、先生がここまで地域医療と医師会活動のために尽くされたご貢献に対し、深甚なる敬意と感謝を表し、その安らかなご冥福をお祈りし、お別れの言葉といたします。

合掌

平成13年7月17日
光医師会会長 前田昇一

弔 辞

廣田通男先生

とうとう永遠のお別れをしなければならぬ時が参りました。

先生に初めてお会いしたのは、光鉄道病院に御着任された昭和27年秋と記憶しております。外科医として御活躍、脂も乗りきったこれからという昭和30年代半ば、御尊父の跡、広田医院を御継承になり、爾来永年地域医療のため、また医師会役員としてご貢献されました。

先生と知己を得て50年に垂らんと致します。私より3ヶ月の兄貴分として深く敬愛し、また何人も及ばぬ御友情を賜り、なんと御礼申し上げるべきか、その言葉もありません。

先生はこのところ数年難病に冒され、特に昨年末よりは悪化の一途を辿られました。医師として何事も知悉された先生の御胸中如何様であったか。しかし不治と知りつつもその淡々たる御態度、誠に見上げたもの、余人の真似の出来ることではありません。それだけに見守る御家族の御心痛の程、お察しするに余りある所でございます。

先生は人間として、また医師として独

自の信念、哲学の持ち主で、自らを厳しく律せられました。この混沌とした世相の現在、先生の更なるご活躍が待たれるとき、あの頑健な先生をお送りせねばならないとは、何たる運命の皮肉でございましょうか。

しかし、先生には御自宅で後継者たる立派な御令息を主治医とし、御令室また御令嬢方の手厚い御看護のものと大往生、誠に羨ましき限りでございます。

廣田先生、長い間御苦労様でございました。長い間、本当にお世話様に相成り、ありがとうございました。

安らかにお休みください。衷心より御冥福をお祈り致します。

平成13年7月17日

友人代表 田中信彦

父のこと

会誌第1巻 廣田医院 廣田 修

「あなたの誕生日までは元気でいてやるからな。」が、退院してからの父の口癖でした。その言葉通り、母の誕生日の6月15日を過ぎてから目に見えて食欲、元気が落ち、7月16日の午前、まさに息を引き取るの言葉通りの臨終でした。

最初に病気の確定診断を受けたのは平成11年4月、その後数度にわたる手術を受け、診察を続けながら治療を受けていました。手術のたびに1週間程度の休診で乗り切っていましたが、昨年12月、放射線治療のため入院が必要となり、今回は1ヶ月以上が予定されたため、急遽私が帰郷することになりました。少しでも早く治療開始したほうが良いのが当然なところ、「患者さんに迷惑をかけていかんから、ちゃんと引継ぎをする。」と言って入院の1週間一緒に診察をし、できるだけ多くの患者さんに挨拶をし、私を紹介してくれました。この1週間が唯一父と一緒に診察した経験でした。

放射線治療は当初の予想以上に効果があり、外見上は著明に病変は消失して大

変喜んでおりましたが、骨シンチで多発性の病変が見つかり、将来的な予想はついていたようでした。3月に退院した後は市立病院に通院しながらも、常に古くからの患者さんのことを気にかけており、気候が変わるごとにいろいろとアドバイスをくれました。

亡くなる4日前、「BCGに行って来るよ。」と話しかけて、私が出かけようとしていたら、結核診療を長くやっていた記憶がよみがえったのでしょうか、それまで意識がはっきりしていなかったのが、突然しっかりとした調子で、「正しい場所と接種法は…」と話し始めました。帰宅して「うまくいったよ、ありがとう」と語りかけると、「ご苦労さん。」と話してくれました。これが最後のアドバイスでした。

口うるさい、怒りんぼの父でしたが、診察にかける気合と正義を貫く姿勢はこれから私も一生の目標にしていきたいと思っております。

平成13年度7月度定例理事会

日時：平成13年7月11日(水)

午後7時30分より

場所：光市医師会事務局

議題

Ⅰ. 報告事項

- (1) 郡市医事紛争・診療情報提供推進
担当理事協議会の報告(藤原理事)
- (2) 周東地域産業保健センター運営協
議会の報告(6/14)(光武理事)
- (3) 東部地区武見支援決起大会の報告
(7/8)(松村副会長)
参院選挙対策本部会議の報告
(6/30)(〃)
- (4) 光市学校保健会総会・研修会の報告
(6/28)(前田会長)
- (5) 県医謡会(6/17)(〃)
- (6) 三師会理事会報告
(6/26)(〃)
- (7) 光市健康づくり推進協議会報告
(7/5)(〃)
- (8) その他

Ⅱ. 協議承認事項

- (1) 8月度月例会と講演会について
(山本理事)
- (2) 納涼懇親会について
(梅田理事)
- (3) 光市三師会行事予定
(前田会長)
- (4) その他
(休日診療所関連事項など)

I - (2)

周東地域産業保健センター運営協議会

日時：平成13年6月14日

場所：下松医師会会議室

議事

- (1) 2000年度事業実施報告
 - ① 事業実績について
 - ② 歳出報告について
- (2) 2001年度事業計画について
 - ① 事業実施計画(案)について
 - ② 予算執行計画(案)について
- (3) 7月～9月事業実施計画について

2000年度事業実績

- a. 事業実績
- b. 企業協力会実績
- c. 産業医の相談、指導従事状況
- d. 登録事業場数の拡大実績

a. 事業実績

地区別	下松市		光市		柳井市		熊毛郡		計		実施率	
	計画	実施	計画	実施	計画	実施	計画	実施	計画	実施		
健康相談	15	21	20	16					35	37	106	
訪問指導	18	21	13	11	6	6	7	5	44	43	98	
母性管理	6	8	4	3	1	0	1	1	12	12	100	
説明会	産保	0	2	1	0	1	0	1	0	2	2	100
	母性	0	1	1	0	1	0	1	0	2	1	50
合計	39	53	39	30	9	6	10	6	95	95	100	

b. 企業協力会実績

協力会名	健康相談	母性指導	産保説明	母性説明	計	参加人数
新日鐵あいこう会	12	1		1	14	164
東洋鋼鈑協力会	1		1		2	60
新笠戸ドック協力会	1	1		1	3	23
合計	14	2	1	2	19	247

c. 産業医の相談、指導従事状況

地区	下松市	光市	柳井市	熊毛郡	計	備考
全産業医数	24	15	21	15	75	県医師会調べ
認定産業医数	24	12	9	10	55	
健康相談窓口	12	8			20	稼動人数を示す
訪問健康指導	8	7	3	3	21	
母性健康指導	3	2		1	6	

d. 登録事業場数の拡大実績

地区	下松市	光市	柳井市	熊毛郡	計	率	備考
期初登録数	63	31	10	13	117	100	
期末登録数	63	32	10	13	121	103	

委託業務実施状況報告

第2回 平成13年2月23日

参加者60名

平成13年4月5日

1 センターの名称

周東地域産業保健センター

2 委託事業実施状況

(1) 地域産業保健センター事業

① 健康相談窓口の開設

開催回数 年37回

開催日 木曜日

指導医師保健婦数 20人

開催場所 下松医師会 (21)

光市医師会 (4)

あいこう会 (12)

② 個別訪問産業保健指導の実施

実施回数 年43回

開催日 木曜日

指導医師数 21人

③ 産業情報の提供

事業概要説明パンフレット「あなたの職場のいきいき健康」の配布

会報「産業保健だより」4回発行
配布、VTRの活用

④ 運営協議会の開催

開催回数 年2回

第1回 平成12年7月6日

委員数10名

第2回 平成13年3月8日

委員数10名

⑤ 説明会の開催

開催回数 年2回

第1回 平成13年2月1日

参加者23名

(2) 母性健康管理相談事業

① 訪問健康管理相談の実施

実施回数 年12回

開催日 木曜日

指導医師看護婦数 6人

② 母性健康管理に対する

説明会の開催

開催回数 年2回

第1回

平成12年11月24日

参加者17名

第2回

平成13年3月16日

参加者15名

I - (4)

平成13年度光市学校保健会総会

日時：平成13年6月28日(木)

13:30～

場所：光市総合福祉センター

(いきいきホール)

議事：

(1) 平成12年度事業報告及び決算報告

(2) 平成12年度会計監査報告

(3) 平成13年度役員選出

(4) 平成13年度事業計画(案)及び
予算(案)

(5) 会則の改定

(6) その他

研修会

講話：「バランスの取れた食事と心身の発育について」

光中央病院

山手智夫先生

平成12年度事業報告

12年6月～ 心臓病検診 (医師会)

6月3日 (土) よい歯のコンクール
(歯科医師会) 光市民ホール

7月6日 (木) 総会 市役所3F

研修会

「こども達の日常の健康を考えよう」

講話 (1) フッ素洗口 (ミラノール)
を導入した学校歯科保健について
歯科校医 中川歯科医院

中川裕之先生

(2) 結核予防について

徳山環境保健所所長

岡紳爾先生

7月27日 (木)

幼児期等う触予防対策事業
商工会議所2F 1名参加

8月24日 (木)～25日 (金)

第46回中国地区

学校保健研究協議大会

山口市 12名参加

8月 児童生徒定期健康診断統計資料

11月12日 (日)

「やまぐち8020歯の健康フェア」

柳井市

13年1月18日 (木)

第33回学校保健研究大会

山口市 9名参加

2月17日 (土)

第13回山口県学校歯科

保健研究協議会

山口市 4名参加

3月8日 (木) 理事会

3月 健康・安全活動状況調査

平成13年度事業計画

方針

本会の目的をふまえながら、健康でたくましい児童生徒の育成を目指して、当面する学校保健に関する諸問題の研究調査を行い、保健衛生知識の普及啓発をはかり、その施策に寄与する。

1 各校保健委員会の活動の強化

2 研究活動の推進

(1) 学校保健大会への参加

ア 第34回山口県学校

保健研究大会

イ 第47回中国地区学校

保健研究協議大会

ウ その他研究発表大会

(2) 研修会の開催

ア 自主研究会の積極的開催

イ 研修視察

3 児童生徒の体力・運動能力の

調査研究

4 その他

- (1) 心臓病検診 (医師会)
 (2) よい歯のコンクール (歯科医師会)

6/7 (木)

勤労者総合福祉センター2F

(審査) 商工会館2F (表彰)

- (3) 研究資料等の配布

a. 平成13年度役員

b. 平成13年度

光市学校保健会会員名簿

a. 平成13年度役員

役職名	選出部会	氏名
会長	学校長部会	守田 和子 室積中学校
副会長	学校医部会	前田 昇一
	学校歯科医部会	清木 史郎
	PTA連合会部会	小林 裕
理事	学校医部会	河村 康明
		光武 達夫
	学校医部会	前田 昇一
		中村 国雄
	学校歯科医部会	清木 史郎
		鈴木 秀紀
	学校薬剤師部会	野村 智城
		大戸 富美子
	学校長部会	杉形 尚城 島田小学校
		守田 和子 室積中学校
PTA連合会部会	小林 裕	
保健主任、養護部会 栄養職員部会		村中 節子 浅江小学校
		木下 由紀 室積中学校
		久保田 恵子 室積小学校
		久野 尚子 光井中学校
	教育委員会	古谷 友伯
監事	学校長部会	田中 信子 三井小学校
	学校医部会	河村 康明
	PTA連合会部会	小林 裕 室積小学校

b. 平成13年度光市学校保健会会員名簿

学 校 名	学 校 医	眼 科 医	耳 鼻 科 医	歯 科 医	薬 剤 師	学 校 長	育 友 会 長	保 健 主 任	養 護 教 諭	栄 養 職 員 他
室積小学校	松村寿太郎 田村 勝司	中村 国雄	前田 昇一	浅海庄一郎	大戸富美子	神邑 克彦	小林 裕	久保田恵子	久保田恵子	
島田小学校	吉村 明人	〃	〃	儀本健二郎	野村 智城	杉形 尚城	松村 三郎	山野あい子	磯部 恵子	
上島田小学校	田中 信彦	〃	〃	中川 裕之	松本みさを	佐藤 義則	水本 一夫	浅本 公代	岡崎 幸恵	
浅江小学校	河内山 正 佃 邦夫	高橋 秀児	清水 敏昭	諏訪 高志	野村 智城	藤井 敏行	藤井 正弘	村中 節子	村中 節子	
光井小学校	平岡 博	中村 国雄	前田 昇一	森本 博士	大戸富美子	江田 光信	呉橋 教生	八楯 敦子	平井 幸江	
三井小学校	河村 康明	高橋 秀児	清水 敏昭	南 典文	野村 智城	田中 信子	寺尾 充弘	福田 邦子	堅田 章子	
周防小学校	光武 達夫	中村 国雄	前田 昇一	清木 史朗	松本みさを	石光 英隆	河村 博明	松本 陽子	松本 陽子	
附属小学校	近藤 龍一	梶原 功一	〃	佃 幹夫	河内山ますみ	佐藤 純一	吉兼 康章	岡本 壽之	和佐本郁子	
室積中学校	田村 達司	中村 国雄	〃	守田 忠正	大戸富美子	守田 和子	谷口 誠	廣中 陽子	木下 由紀	
光井中学校	富惠 博	〃	〃	鈴木 秀紀	手島多賀子	石村 正彦	山根 成紀	三島 聖子	岩政 文	
浅江中学校	高橋 建次 市川 晃	高橋 秀児	清水 敏昭	藤本 竹登	大戸富美子	有馬 弘	池 信夫	山根美代子	山根美代子	
島田中学校	丸岩 巖 福本 壽雄	中村 国雄	前田 昇一	平田万三志	松本みさを	井上 需弑	通山 晋哉	村田 和彦	中村 倫代	
附属中学校	丸岩 昌文	梶原 功一	〃	佃 幹夫	河内山ますみ	松村 二郎	西田 信之	川野 信一	即席 千恵	
学校給食 センター										高管 昌子 高橋 浩子
教育委員会										古谷 友伯

I - (6)

三師会理事会（平成13年度）

日時：平成13年6月26日

場所：光市医師会事務室

- ① 会費2年間に限り
月250円とする。
- ② 食事会等を開催する

I - (7)

光市健康づくり推進協議会

日時：平成13年7月5日（木）

午後3時30分より

場所：光市総合福祉センター

「あいばーく光」2階第3会議室

協議事項

- (1) 副会長の選出について
- (2) 平成12年度光市健康づくり
事業報告について
- (3) 平成13年度光市健康づくり
事業計画について
- (4) 平成13年度健康まつり等について
行事について
- (5) その他

平成13年度保健衛生事業について

新設の「総合福祉センター あいばーく光」を拠点として、保健事業を始めとする各種保健衛生事業を、医師会、歯科医師会、薬剤師会及び健康をつくる婦人の会等関係団体のご協力を得て計画的に実施します。

介護保健が実施され、新たな段階を迎えた状況に対応するために高齢者保健福祉施策の一層の充実を図るために、介護サービス基盤を含む5ヶ年間の「光市高齢者保健福祉計画及び介護保健事業計画」を12年度策定いたしました。今年度は計画の2年目を向え、総合的かつ計画的に展開して保健事業の積極的な取り組みを行うと共に、「光市母子保健計画」に基づいた母子保健事業や予防衛生事業等前年度に引き続き精力的に取り組むを図ります。

また、救急医療行実務につきましては、従来の在宅当番医制度にかえて休日診療所の運営を行います。

『安心して 生き生きと暮らせる 元気都市』の実現に向け取り組みます。

(老人保健事業について)

1. 健康診査等の推進

医師会及び関係団体等の協力を得て、ふしめ検診の充実を図ると共に、基本健康診査を始めとした各種がん検診の受診率の向上に努めます。

特に、女性の貧血、骨粗鬆症の早期予防を図る観点から、前年度に引き続いて、30歳代女性に対し健康診査と骨量検査を実施します。

本年度の新規事業として、女性の子宮がん検診(体部がん検診)と、50歳代男性に前立腺がん検診を実施します。

2. 健康教育、健康相談の充実

総合福祉センターや各公民館で行う健康教育、健康相談をより充実いたします。

高齢化進展に伴い痴呆性高齢者の増加が見込まれます。痴呆に対する正しい知識の普及、啓発を推進してまいります。

3. 訪問指導

在宅寝たきり老人等が安心して自宅で生活できるように、在宅福祉サービスとの連携のもとに積極的に訪問指導を行い、在宅支援対策の拡充を図ります。また、歯科医師会の協力による在宅寝たきり歯科診療を実施します。

4. 健康づくり運動

どこでも、だれでも、簡単に取り入れ

られる要の練法の指導を養成し、住民の健康づくりに力を入れていきます。

(母子保健事業について)

1. 妊婦健診、乳幼児健診の推進

1ヶ月・3ヶ月・7ヶ月健診を引き続き実施します。

2. 思春期保健事業の推進

中学校1校を選定し、思春期講演会を実施し、思春期の性の問題について学ぶとともに、生命の大切さや、心と体の発達に関する講義、骨量の検査、また、赤ちゃんとのふれあい体験学習等実施し、事業の充実を図ります。

3. 健やかに子供を生み育てる環境づくり

少子化対策の一施策として、母と子にやさしいまちづくりを行うために母乳育児の推進、子育てに対する地域ぐるみの支援体制の確立、子育ての輪づくりを行います。

(歯科保健事業について)

1. 成人歯科保健事業

80歳になっても自分の歯を20本以上持つことを目的とした「8020運動」を広く住民に啓発し、生涯を通した歯の健康づくりに努めます。

2. 歯のコンクール

第17回「実年・熟年・寿年」歯のコンクールを歯科医師会の協力により実施し、歯の大切さについて啓発活動に努めます。

3. 障害者の口腔健診（新規事業）

総合福祉センター口腔保健室において、歯科医師会の協力を得て、障害者の口腔健診と口腔衛生指導を実施し、障害者の口腔疾患を早期に予防し、介護者と共に口腔衛生意識の高揚を図ります。

（予防保健事業について）

1. 予防保健事業について

予防接種法並びに結核予防法に基づく各種予防接種の受診率の向上に努めます。12年度より小学生、中学生の風しん・日本脳炎・二種混合の予防注射を医師会の協力を得て個別接種に変更しました。その接種率の向上に努力いたします。

（組織の育成事業について）

1. 地域住民の健康づくりに貢献している光市健康をつくる婦人の会等の関係団体の育成に努め、地域保健の推進を図ります。

（救急医療業務）

1. 休日診療所の運営

（一次救急医療体制）

13年度より、従来の在宅当番医制度にかえて、休日診療所の運営を医師会、薬剤師会の協力により、内科系・外科系の診療科目を実施します。

2. 二次救急医療体制

周南圏域4市2町で、周南地域救急医療対策協議会を運営して、休日・夜間の救急医療体制を確保し、内科・

外科・小児科の二次救急に対応します。なお、12年度から小児救急医療体制を確保して救急医療を実施しております。

（その他）

1. イベント

おっぱいまつり 8月5日（日）

ふれあい・健康・学びのつどい

9月30日（日）

I - (8) その他

- ① ツ反判定と事後措置について
(吉村理事)
- ② 医師会の車(スターレット)修理に
ついて、承認。

学 術 講 演 会

日時：平成13年7月3日(火)
場所：光商工会館
特別講演
座長 総合病院光市立病院診療部長
山本憲男先生
「癌細胞の生き様」
講師 山口大学医学部医学部長兼
生殖・発達・感染医科学講座
教授 加藤 紘先生



納 涼 懇 親 会

日時：平成13年7月24日(火)
午後7時より
場所：虹ヶ浜ニューチャンピアひかり



医師会ゴルフコンペ

日時：平成13年7月8日

場所：周南カントリークラブ

順位	氏名	R順	GROS	HDCP	NET	コース	
						1	2
1	平田万三志	12	91	12	79	42	49
2	守友 康則	12	108	28	80	54	54
3	森本 博士	12	86	4	82	46	40
4	及川 和郎	12	119	36	83	57	62
5	前田 昇一	12	95	11	84	45	50
6	光武 達夫	12	94	10	84	48	46
7	守田 忠正	12	92	6	86	46	46
8	兼清 照久	12	91	4	87	44	47
9	藤村 朴	12	96	9	87	48	48
10	横山 宏	12	97	7	90	45	52
11	石丸 廉	12	110	20	90	56	54
12	丸岩 昌文	12	129	36	93	58	71
13	竹中 智昭	12	130	27	103	66	64

NP：平田、守本（オブザバー）

DC：森本、横山

BG：森本

●●●●● あ と が き ●●●●●

記録的な猛暑の月に、また一人先輩が減り
淋しい限りです。(文責 兼清)

発行所	光市医師会
	TEL (0833) 72-2234
発行者	前田 昇一
編集者	広報 担当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社